

被災から3ヶ月たっても依然、復興には遠い道のりです ひきつづき息長く被災地を見守りボランティア活動を続けていきます

「遠野まごころネット」を拠点として被災地で活動しています

3月11日以来、被災地へ伺い、被災者の皆さんに寄り添うべく活動をしてきました。

5月21日より、岩手県遠野市のボランティアセンター「遠野まごころネット」に登録して活動しています。順次、1週間単位でパルコープ職員がボランティア（自分の休暇を使い）で参加をさせていただいています。日常の業務には、できるだけ影響を及ぼさないように取り組みますので、どうぞご理解ください。今回の報告は、第4陣です。



アマタケの社員さん(右)は、工場が被災して稼働していないので避難所の仕事をさせていただきました

足湯で一瞬嬉しそうな笑顔が見れました

大槌町の避難所で足湯を行いました。一人の女性が「三陸は、おいしいものがいっぱいなのに、津波のせいで今は何も無い…」とずっと沈んだ表情でしたが、自分がめかぶが好きだと答えると一瞬でしたが嬉しそうな笑顔が見れました。ここでは、「パルコープ岩手鴨鍋セット」メーカーのアマタケさんで働いておられた方にお会いでき、パルコープの組合員さんはアマタケさんが大好きで、とても心配していたことを直接伝えることができ、それだけでも良かったと思いました。

(共同購入本部共済・水田香奈子)

<第4陣> 6月11日~17日

支所・店舗職員など9名

ボランティア活動の積み重ねが復興につながる

家屋整理に参加しました。全く知らない人たち約20名とマイクロバスに乗り込み、釜石市箱崎町に行きました。小学校周辺の重機が取り切れない小さな瓦礫を拾い、1か所に集める作業です。熊手やスコップで集めては1輪車で運ぶ、気が遠くなる作業です。皆、会話する事もなく、黙々とただひたすらに作業に没頭しました。林の中の瓦礫撤去では木が邪魔をして重機が入れず、撤去が進まないそうです。そのため、重機が入れる所までマンパワーで運ぶという作業です。この時改めて津波の力の凄さを感じました。海に浮かぶブイが一番多かったのですが、置や家の壁、ジュースの自販機など普通では考えられない物が転がっていました。今回の活動は、長いようであるという間の1週間でした。自分に何かできたのかと言えば、何もできていないように感じています。ただ、毎週の、このボランティア活動の積み重ねが少しずつ復興につながっていくのであろうと信じています。

(北枚方支所・鶴丸信一郎)



物資配達準備



障がい者支援作業所も避難所になっていました
(左から2人目：北枚方支所 鶴丸信一郎)



年金や健康保険についての相談にものりました(中央後ろ、港支所 照屋忠司)

野菜を届けるのに携わった多くの皆さんへのありがとう

月~木の4日間で物資配達3日間、一般ボランティア1日に参加させていただきました。物資配達では、被害を受けた知人・親戚を受け入れて一緒に生活をされている、高台にある家に届けてきました。物資を届けてくれるところもなく、配給される施設に物資を取りに行くことができないところです。娘一家が津波の被害で孫を連れて避難された家では、野菜がすごく喜ばれ、「ありがとう、本当にありがたいです」と何度も何度も言われました。僕は、ただ野菜を遠野からトラックで配達ただけでした。1つの野菜を届けるのに携わった人たちみなさんにおっしゃってる「ありがとう」なんだと思いました。

(都島支所・東秀隆)

ひきつづき募金にご協力をお願いします

(遠野)まごころネット募金

遠野まごころネットからお届けする商品の購入資金やガソリン代などの運営資金になります

【共同購入】では、提出用注文書「カンパ欄」1416番で受付けます。

【店舗・組合員会館】では、募金箱を設置しています。

【郵便振替】では、(口座番号) 00900-2-14876

(加入者名) 生活協同組合 おおさかパルコープ

※通信欄に、必ず「遠野まごころネット募金」と明記ください。
手数料は各自ご負担をお願いします。

「遠野まごころネット」ホームページは <http://tonomagokoro.net/>



東日本大震災救援募金

日本生協連で集約し各県の生協連合会から行政を通じ、被災者のみなさまへ届きます

【共同購入】では、提出用注文書6桁欄にて注文番号「001417」で募金受付けます。

【店舗・組合員会館】では、募金箱を設置しています。

【郵便振替】では、

(口座番号) 00900-2-14876

(加入者名) 生活協同組合 おおさかパルコープ

※通信欄に、必ず「東日本大震災救援募金」と明記ください。
手数料は各自ご負担をお願いします。